

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」草加校

保護者等数（児童数）：5 回収数：4 割合：80 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4				十分に取れている 他事業所と比べた ことはないが狭い気 はしない	今後も特性、成長に合わせたスペースを提供できるように致します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4				適切である	今度もより良い支援が提供できるように努力してまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4				バリアフリーではない	障害特性に対応できるように、視界を遮る工夫や段差がわかる工夫をしていきたいです。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4					引き続き衛生管理・環境整備の徹底をしていきたいです。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4					今後もお話を伺いながら作成していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4					今後も適切な支援を提供できるようにしていきたいです。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					計画に沿う支援が提供できるように、今後も支援変更の際はご相談をさせていただき計画も変更させていただきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					必要な支援を提供できるように、定期ミーティングで見直しを行っています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1				要望が聞かれた際は検討していきたいです。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					今後も分かりやすい説明を心掛けていきます。

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4					今後わかりやすい丁寧な説明をしていきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4					時間を設けて行ってきたいと思います。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4					些細な事柄でも共有し、同じ認識を持っていきたいと思います。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					引き続き、フィードバック時や相談支援時にお話を伺いたいと思います。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1				随時、お困りごとやお悩みをうかがう時間を設けたいです。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4					今後も迅速に対応できるように、進めていきたいと思います。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					引き続き取り組んでいきたいと思います。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4					もっと周知されるように工夫をしながら発信していきたいと思います。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4					今後も個人情報の取り扱いには、十分気を付けていきたいと思います。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4					実際に起きた時に慌てず対応できるように、各マニュアルの見直しおよび研修、訓練をしていきたいと思います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4					訓練案内を壁に掲示するなどして周知していきたいと思います。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4					今後も一緒に喜び合えるように頑張ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4					今後も寄り添い、笑顔が多く見られるように頑張ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」草加校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		パーティションで仕切り集中できる空間を提供している。	声の大きい方や聴覚過敏の方へ配慮している。
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		1対1が基本だが場合によっては1対2（指導員）対応している 常勤4名配置している。	職員が急遽休みになった際は、近隣校舎にヘルプ要請をして、支援に差し支えないようにしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		<input type="radio"/>	待合スペースと療育スペースに仕切りあり、教室入り口から活動スペースは段差のないスペースとなっている。	わかりやすい構造になっているが、洗面所にのみ段差があり、乗降時に声掛けをしている
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		毎朝清掃をしている。集団支援時は活動しやすい空間にレイアウトを変更している。	大雨の際、事務スペースや支援スペースに浸水被害が出るが、その都度、検査及び補習工事している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		目標達成に向けて、個々職員が出来ることを行っている。また職員間の情報共有を行い定期的な会議及び今後の業務改善に努めている。	上長による定期面談で意識確認や資格取得の制度も整えている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者に対し毎年事業所評価を実施。 保護者からの意見には職員間で情報共有し日々業務改善に努めている	直ちに改善できることは改善し、時間が必要な事柄については計画を立て改善できるように努める。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページ等で情報開示を行い、教室内に結果を掲示し、保護者や利用者がいつでも見ることができるようにしている。	多くの方に評価していただけるように、保護者に合わせた依頼をしている
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	校舎内会議で情報共有し日々業務改善に努めている。	第三者委員会を設けていないため、検討していきたい。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		発達研究所主催の研修や事業所内研修、外部研修	内部研修、外部研修ともに対面での研修は少なくなっている

適切な支援の提供				などに全員参加できるように時間の調整をしている。	が、オンラインを利用して参加できるように努めている。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		毎回支援後のフィードバックなど個々のニーズを把握できるように努めている。また、家庭学校などの様子を共有するため定期的な保護者面談を行いニーズと困りごとをすり合わせながら作成している。	フィードバック時では時間が限られてしまうため、相談時間を設けていただけるようお願いをしている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		法人で定められたアセスメントシートを使用している。	職員全員でアセスメントが出来るようにしている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		入社時研修で観覧している。またいつでも確認できるようにしている。	地域支援は行われていないが、児童に必要なものを職員で話し合い、プログラムに取り入れている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		支援計画とズレが生じないように定期的にミーティングを行い確認している。	支援計画更新見直し前に取り入れたい支援があるときは、ご相談させていただき、その都度見直し・変更をしている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		ミーティングで意見交換をしている。	支援計画に沿った支援プログラムになるように、立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		ミーティングで意見交換し、変更等検討している。	内容が一緒でもレベルを変えている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		個別支援が主流であるが、小集団療育（イベント）を行っている。	個別支援の希望が多いが、季節に応じたイベント内容で小集団療育を行っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		支援開始前のミーティングに確認をしている。	支援前にも再度、前回担当した職員に内容確認をしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	次日のミーティングで確認をしている。	定期支援ミーティングを行い、そこでも確認、情報共有している。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		支援を行った指導員が記録をしている。ミーティング時やモニタリング時に確認し検証している。	記録内容は状況や状態が伝わりやすい記録になるように、意識している。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		全職員参加でモニタリングを定期的（基本6ヶ月）に行っている。	定期ミーティングでの情報も加え、見直しの必要性を判断している。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		詳しいものが参加できるように、支援調整をしている。	最近はコロナの影響で対面ではなく電話での対応が多い。その場で対応できない時は時間を改めて対応している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>		適時連絡を取り合っている。	連絡内容を記録に残し、職員間でも情報し必要な支援が提供できるようにしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		該当なし	該当なし
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		移行支援としては行っていない。	保護者からの要望があれば、訪問や電話等で情報共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		連絡協議会の研修を受けている。	職員全員で研修に参加できるように、時間調整をしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		具体的な交流はないが、イベント開催時に兄弟姉妹の参加も受付、交流の場を設けている。	保護者様からの希望に合わせ機会があれば連携を取っていききたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		協議会には参加しているが地域へは参加していない。	機会があれば出席を検討します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		フィードバック時に、支援内容を伝え共通理解を図っている。	フィードバック時や相談支援時に、学校での様子や家庭での様子も伺い必要な支援について確認している。
保護	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>		プログラムは作成していないが、フィードバック時や相談支援時に話を伺い提案している。	ペアレントトレーニングはないが、必要があれば外部機関と協力していきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		内容確認をしながら説明を行っている。	補足を加えながら、説明をしている。

者 へ の 説 明 責 任 等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		契約時、変更、更新時に確認や再アセスメント時に説明、同意を頂いている。	具体的な説明も加えながら、わかりやすく伝わるように心掛けている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		相談時間を設けお話を伺っている。	来校が難しい保護者に対しては、電話やラインなどでも相談に応じている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>	定期的には保護者会を開催していない。	巡回相談時に保護者会を開催した。 要望があれば検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		相談事を持ち掛けやすいように日頃からご案内している。	事業所内で対応が難しいと判断した時には、他機関と連携しながら対応していきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		毎月開校日や活動案内等、書面にて保護者に配布している。またラインでお知らせを発信している。	教室にも掲示して保護者の目に留まりやすいようにしている。行事時は保護者へ口頭でもお伝えしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		鍵付き書庫に保管している。	退室の際には卓上を複数人でしまい忘れないか確認をしている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		理解しやすい言葉、メモやデジタルツールを使い最適な方法を模索して対応している。	具体物を提示するなど、イメージしやすいようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>		ウイルス感染対策や防犯を考慮しながら、安全な形で対応できるように検討していきたい。
非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>		毎月、想定を変えて訓練を実施している。	マニュアルはあるが職員用になっている。保護者もいつでも閲覧できる場所に工夫したい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		事業所で防災訓練を実施し、緊急災害時に備えている。	地域の特性も職員間で共有して訓練している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>		面談時に確認をし、基本情報シートに記載している。	契約前に職員間で情報を共有、確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			該当なし	該当なし

45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		ヒヤリハットがあった場合には、情報共有し記録を残し同じような事案が起こらないよう努めている。	常に目の届く位置にファイルを保管し、いつでも確認できるようにしている。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		全員が参加できるように調整している。	定期的にチェックシートを用いて振り返りを行い防止に努めている。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>		契約時に説明をしている。	身体拘束校内研修を行い、身体拘束を行わなくすむような支援が提供できるよう、職員間で検討している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。